

授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	匝瑳市立野田小学校
-----	---------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○令和5年度全国学力・学習状況調査では、算数の「記述式」の出題において、平均正答率が県より20ポイント下回っており大きな課題が見られた。空白のまま回答を終える児童が多く、選択式があれば、正答を導くことができても、自分の言葉で相手に伝わるように的確に表現することを苦手とする児童が多い現状がある。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○見いだす過程で、ユニバーサルデザインを活用し、工夫して素材文を提示すれば、児童の思考力を高めることができるであろう。
○自分で取り組む過程で、ユニバーサルデザインを活かしてワークシートや場の工夫等をしていけば、児童の表現する力を育てることができるであろう。

3. 具体的な実践

○理論研修 ①ちばっ子「学力向上」総合プランについて
北総教育事務所海匝分室 指導主事 伊藤 崇裕
②通常の学級における支援
北総教育事務所 特別支援アドバイザー 佐瀬 史恵

○学年ごとに目標を設定したノート指導

○見いだす過程、自分で取り組む過程にユニバーサルデザインを取り入れた授業実践

○第2回要請訪問での研究授業

4. 成果

○主体的に学習に取り組む児童が増えた。
○一つの方法だけではなく、様々な方法で解こうとする児童が増えた。
○自分の考えを口頭で表現し、それをノートに書くことができる児童が増えてきた。
○考えをまとめる型を活用することで考えを表現することに慣れてきた。
○自分の考えを自分の言葉で何も書けない児童が減った。
○自分の考えを書くことで発表意欲を向上させることができた。

◆担当指導主事から（北総教育事務所 指導主事 伊藤 崇裕）

○匝瑳市立野田小学校では、記述や表現力を課題として捉え、学校全体で研究を推進してきた。授業実践の中で、昨年度までの研究に加え、児童の思考の流れを整理するため、ワークシートや思考ツールを活用し、表現力の向上に努めている。